

第66号

花だより

令和6年秋号

安佐南区
花いっぱい運動

発行：安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局(安佐南区地域起こし推進課内) ☎ 831-4926 FAX 877-2299



【沼田支部】 報告者：円山 文雄

もてなしの心

伴学区クリーン作戦が9月末、アストラムライン沿いでありました。30年前のアジア競技大会から始まった地域住民による美化活動です。この「もてなしの心」が、花いっぱい運動へ立派に引き継がれています。

大会会場の一つだった安佐南区スポーツセンターの玄関前広場にも登録花壇が広がっています。沼田支部の4人の会員が苗の管理から水やり、草取りまで世話をしています。直径5メートルの円型花壇を中心に二十数個のプランターを配し、スポーツ競技や健康づくりの利用者を「ようこそ」と施設にいざないます。



秋の花壇は、こんもりしたコキア（ほうき草）が玄関の曲線的な建築デザインと溶け合っています。春はネモフィラ、ノースポール、ナデシコが淡い色彩の協奏曲です。猛暑が続いた今夏は、早朝や夕方に水やりが大変でした。

良い文化施設には、来場者に心地よい、美しい導線が欠かせません。そのお手伝いをと願っています。





【安東支部】 報告者：上長者 辰雄

夏季の連続猛暑に対処する園芸諸活動

地球温暖化により今年の夏季は長期にわたり猛暑日が続きました。その影響により、花いっぱい運動に係る花壇の管理・冬春用花苗の育苗や我が家の園芸活動で、これまでに経験したことのない苦労・体験をしました。

1. 花いっぱい運動に係る活動等

～連続猛暑に伴う花壇への水やりの苦労と花の異変～

例年、夏季は花いっぱい運動に係る公園の花壇には、朝1回の水やりで管理していました。今年は連日の猛暑で、朝、花壇の花に十分水やりしても夕方には花が水不足状態になるため、毎日、朝夕2回の水やりに苦労しました。その結果、千日紅、コリウス、コキアは夏季を乗り切ることができました。しかし、マリーゴールドは8月下旬から花が咲かなくなり、コキアは10月に入り葉が茶色になり、一部が枯れはじめました。また、花壇の周辺に植えている皇帝ダリアは、葉が茶色になり生育が止まりました。このような状態は、これまで経験していない現象で連続猛暑の影響と考えられます。

～冬春用花の種蒔きと育苗の苦労～

例年、冬春用花の種蒔きは、葉牡丹は8月中旬まで、パンジー・ビオラ・金盞花・なでしこ・ゴテチャ等は8月下旬までに行っていました。8月上旬に葉牡丹の種を蒔き、順調に発芽しましたが、暑さ対策の寒冷紗をしなかったため、猛暑で徒長するとともに直射日光が当たり、葉が日焼けして大部分が枯れてしまいました。その後、葉牡丹は9月上旬に2回目の種蒔きを行いました。3日後に発芽(発芽率70%)しました。前回の失敗を踏まえ、寒冷紗かけて高温による徒長、日焼けを避けて管理するなどして育苗し、9月中旬に本葉3枚でポット上げしました。パンジー・ビオラ・金盞花・なでしこ・ゴテチャ等の春用花の種蒔きは、9月下旬に行いました。3～5日後、すべての花が発芽(発芽率60～70%)しました。順調に生育し、10月下旬にポット上げしました。今年は、夏季の猛暑続きにより、冬春用花の種蒔きが例年より大幅に遅れたため、年内に花壇に移植できるよう花苗を育苗できるか危惧しています。来年以降も夏季の猛暑は続くことが予測されます。「秋の種蒔きは、1日の遅れで生育が大幅に遅れる」と言われております。冬春用花の種蒔きは、発芽温度、育成温度、気温の変化を勘案しながら時期を誤らないよう行うとともに、白寒冷紗の活用等、的確な暑さ対策の必要性を痛感しました。



2. 我が家の園芸 ～アケビの実の落下～

我が家には、30年前に故郷の山から移植したアケビが玄関下と裏庭にあります。例年、春アケビの花が咲いたとき、他の木の花粉を受粉し、十数個のアケビが実を付けていました。今年も、春季に受粉し十数個の実が付いていることを確認しました。しかし、その後、アケビの実は、日にちの経過とともに落下して、順調に生育したアケビは1個でした。これまでこのように実が落下したことはなく、実の落下原因は定かではありませんが、夏季の猛暑の影響と考えられます。



【祇園西支部】 報告者：森川 数夫

地球温暖化がやってきました

・今年の夏は、暑い熱い日が続きました。連日35℃以上の酷暑の日が50日間も続き、その間雨も降らず、人間も植物も過酷な環境に置かれました。実際に花壇の花も枯れて全滅した場所もありました。通常バーベナは宿根草で、今までは普通に夏越しは出来たのですが、今年初めて「寒冷紗」の世話になりました。盆過ぎまでは水やりだけで順調に生き延びていましたが、暑さで葉が枯れ始めたので、慌てて「寒冷紗」を掛け、日陰を作り何とか生き延びることができました。これからの夏は毎年酷暑が当たり前になるので、花の選定も考えて植えなくてはなりません。私なりに推奨する品種はケイトウ・ジニア・ニチニチソウ・ポーチュラカ等が最適だと思います。



何とか夏越しできたバーベナ



ケイトウ



ジニア



ニチニチソウ

・今年の夏、矮化剤（わいかざい）を使って植物を小さく育てる方法にトライしてみました。購入した矮化剤には、「家庭園芸用植物成長調整剤」と明記されていました。草姿は小さくなるけれど、葉数や枝数・花芽が多くなり豪華に育つとのこと。今回、恐る恐るハボタンで挑戦してみました。写真は種まきから50日後のハボタンで、大きさは一目瞭然です。このまま順調に育成し、結果がどのようなになるか楽しみです。

正月前には花屋の店頭には矮化剤を使って育てたハボタンがたくさん並びます。また葉ボタン以外にもキク・ペチュニア・パンジー・アサガオなどにも使えるみたいです。皆さんもぜひ挑戦してみてください。



今回使用した矮化剤



手前が矮化剤を使用したハボタン



こんなに大きさが違います

・暑さに関係なく、腐葉土は順調に出来上がりました。昨年末に仕込んだ腐葉土（花だより60号掲載）が酷暑の夏の期間、暑くて作業は何もできませんでしたが立派に完成しました。この腐葉土を畑や花壇に使う場合、直接播いて使用できますが、私はもうひと手間加えて仕上げます。公園で集めた落ち葉の中には、小石・小枝やタバコの吸い殻などの不純物が混ざっており、これらを取り除きます。市販の「焼き肉用網」とトレーを組み合わせたふるい（フィルター）に載せ、手で軽く押しつぶします。網の目を通った良質の腐葉土が出来上がります。

これから花作り作業は、休閑期に入ります。皆さんも腐葉土作りに挑戦してみてはいかがでしょうか。



開封後の腐葉土



手製のフィルター



軽く揉みます



最高級品質の完成です

*****安佐南区花いっぱい運動*****

安佐南区では、区民のみなさんが主体となって区全体を花でいっぱいにしようという趣旨に基づき、「安佐南区花いっぱい運動」を行っています。皆さんもぜひ、この運動に参加し、花壇づくりを始めてみませんか。



瀬戸内ハイツ入口



松原川緑地



相田第七公園

※ 安佐南区役所 “小さな音楽会” × “花いっぱい運動”



安佐南区役所では、「地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり」の一環として、区役所において定期演奏会「小さな音楽会」を実施し、「住民に親しまれる区役所づくり」に取り組んでいます。

そして、月1回の定期演奏会の締めくくりとして、12月にクリスマスコンサートを「安佐南区花いっぱい運動」とのコラボレーションで実施します。（演奏終了後、来場者に葉牡丹をプレゼントします。）

日時：令和6年12月20日（金）12:00～13:00

場所：安佐南区役所4階講堂

内容：クリスマスアンサンブル



事前に申し込みが必要となります。12月2日（月）から受付開始で先着100名ですので、お早目にお申し込みください。

申し込み方法などの詳細は、12月1日号の「区報あさみなみ」をご覧ください。